

「絆の大切さ」と「国際協力の今」を楽しく知ろう

グローバルフェスタ JAPAN 2007

家族と地球

10月6日(土)・7日(日) 10:00-17:00 日比谷公園 入場無料



10月6日は国際協力の日



文部科学省 「国際協カイニシアティブ」 出展報告書

平成19年10月

■ グローバルフェスタ JAPAN2007 概要

名 称	グローバルフェスタ JAPAN2007
テ ー マ	家族と地球
開催日時	2007年10月6日(土)・7日(日)10:00～17:00
開催場所	日比谷公園
趣旨・内容	<p>「10月6日は国際協力の日」を記念して開催される国内最大級の国際協力のイベント。</p> <p>1990年より毎年開催されており、今年で17回目の開催となった。</p> <p>楽しくわかりやすい参加型イベントを通して、国際協力を身近に感じてもらうとともに、開発途上国の現状とODAを含む国際協力の必要性や国際協力にあたっての政府、国際機関、NGOの活動を広く理解していただくことを目的として開催された。</p> <p>今年はテーマを「家族と地球」とし、生活の中心である家族、家庭から始まり、その周りの地域、世界との絆や繋がり、さらには地球環境についても様々な展示、イベントを通じて理解と認識を深めていただくことが目的とされた。</p>
主 催	グローバルフェスタ JAPAN2007 実行委員会
共 催	外務省・独立行政法人国際協力機構(JICA)・国際協力銀行(JBIC) (特活)国際協力 NGO センター(JANIC)
後 援	総務省・財務省・文部科学省・厚生労働省・農林水産省・経済産業省・国土交通省・環境省・東京都・(社)日本新聞協会・NHK・(社)日本民間放送連盟・(財)自治体国際化協会・(財)国際開発高等教育機構・(社)青年海外協力協会・(社)日本経済団体連合会
参加団体	援助関連政府機関・公益法人、国際機関、大使館、青年海外協力隊関連団体、NGO団体関連 約 200 団体
事 務 局	<p>グローバルフェスタ JAPAN 2007 実行委員会事務局</p> <p>[(株)ジェイ・アイ・シー内]</p> <p>TEL 03-5434-8247 FAX 03-5434-8697 E-mail gffesta@ns.jic.co.jp</p>

■ 文部科学省「国際協カイニシアティブ」出展企画概要

名 称	文部科学省「国際協カイニシアティブ」
日 時	2007年10月6日(土)・7日(日)10:00～17:00 (グローバルフェスタ開催期間中)
出展場所	グローバルフェスタ2007会場 (日比谷公園内) グリーンファミリー・教育関係エリア、G-02
目 的	NGO 等国際教育関係者や一般市民等を対象として、国際協カイニシアティブや現職教員特別参加制度等に関する啓蒙活動を展開し、これらに対する理解の促進を図る。
内 容	<p>■大学、NGO等、わが国の教育関係者が有する知見を基に作成された教育協カに有用な教材、マニュアルなどの成果品を出展。 また、「現職制度」の紹介、および帰国隊員による活動説明を実施。</p> <p>1. 「国際協カイニシアティブ」の取組の事例紹介</p> <p>(1) 大妻女子大学が、学校保健分野の諸問題を解決するために取り組んでいる活動を、写真、学校保健改善マニュアル・簡易ツールなどにより紹介。</p> <p>(2) 東京農業大学が、食農環境教育の普及のためにNGOと協力し取り組んでいる活動を、写真、有機堆肥の利用に関するガイドブックなどにより紹介。</p> <p>2. 青年海外協力隊「現職教員特別参加制度」の紹介</p> <p>(1) 制度の内容、活動中の様子をパネル、写真、映像などにより紹介。</p> <p>(2) 参加した教員が、現地での活動や帰国後の活動について説明。</p> <p>① 「帰国後のベトナムの小学生と日本の小学生との交流活動について」(6日午後)</p> <p>② 「フィジーでの教育事情、情操教育分野の活動や現地の子供達とのふれあいについて」(7日午後)</p>
参加スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文部科学省国際課： 満尾俊一、小川真由美、中村敦朝 白川浩、吉澤菜穂美、清水大督、畠中美子 ・ JISTEC: 古橋延広、福本未夏、星井あゆか
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現職教育特別参加制度の説明者 <p>6日(土) 清水大格教諭(神奈川県平塚市立松原小学校、15年度、ベトナム)</p> <p>7日(土) ①澤田明子教諭(千葉県四街道市大日小学校、16年度、フィジー)</p> <p>②小林あゆみ教諭(朝露市立朝露第一小学校、16年度、フィジー)</p>

■ 出展会場風景



文部科学省「国際協カイニシアティブ」展示ブース
2日間とも天候に恵まれ、大きなトラブルもなく盛りに終わった。



展示ブース全景
趣向を凝らした展示で、事業の紹介を行う良い機会となった。



出展ブース個別展示

- ① 拠点事業説明コーナー。大判パネル(大妻、東京農大)、拠点成果物等(拠点で開発したツール、カレンダー式展示物等)
- ② 帰国教員から提供された展示物(絵画、教材等)
- ③ 青年海外協力隊「現職教員特別参加制度」紹介パネル
- ④ 拠点、現職関係展示物(チラシ、パンフレット、成果物等)





グローバルフェスタ全体で計 79,345 名（昨年度実績：66,696 人）が来場し、本省ブースにも大勢の人々が訪れ活況を呈した。



10/6、帰国教員(清水大格先生【神奈川県立平塚市立松原小学校】)による説明会風景。教員を目指す多くの学生から熱心な質問が飛び交った。



10/7、帰国教員(澤田明子先生【千葉県四街道市立大日小学校】、小林あゆみ先生【朝霞市立朝霞第一小学校】)による説明会風景。



来訪者から事業に関する率直な意見・要望等をいただき、貴重な意見交換の場となった。



会場内を巡回して JICA テント前、ワークショップテント付近で、チラシやパンフレットを配布し、事業活動の周知を図った。



スタッフ総出で説明の対応に当たった。また他の出展関係者からも関心を集め、出展者仲間で情報交換の場ともなった。